

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第4分科会		
テーマ	環境・都市計画		
開催日	平成 26 年 5 月 30 日	検討回数	第4回(自主)

検討結果概要

1. 今回検討した項目

①第3回検討会において提案された5つのテーマ(道路・公共交通・ゴミ・自然・その他)に対する各意見について再検討した。
・5名出席

2. 今回の討議した内容(報告)

・再検討された意見については別紙のとおり

3. 次回の検討方針

・今回再検討された意見を踏まえ、次回検討会においてアイデアを具体化する。

◎別紙

【道路】

- ・ホコリが側溝や道にたまる 事故の原因
- ・道がせまい
- ・安全性の確保
- ・歩道整備、側溝
- ・はみ出し樹木
- ・街灯
- ・地域毎に定期的にパトロールし、枝の張りだし、側溝の機能の確認を市民と協力して改善していく
- ・側溝上の土砂、草等の撤去
- ・行政と市民の責任について
- ・各道路管理者の基本的な管理方法の確認
- ・道路の安全、車の運転手の意識の向上(整備には限界があるのだから)
- ・はみ出している樹木
- ・土ぼこりを防ぐ方法
- ・道路の管理している所
- ・八街の道路は狭い、危険と言われるが、どこがどう危険なのか現状を把握することが大事では

《今回出された意見》

- ・樹木の伐採には、土地所有者の協力が必要
- ・通報するシステムが必要(環境課の犬猫の処理の対応が参考になるのでは)
- ・地域でできることは地域ですべき
- ・市民に訴えかけるスローガンのようなものが必要
- ・ただ単に市民にお願いするだけではダメ
- ・ゴミゼロを義務的に年1回やっているだけではダメ。年2回にすべき
- ・枝の張り出しで信号が見えない→安全性の確保が必要(歩道・マンホールも同様)
- ・砂ぼこり対策には、垣根の整備等農家の協力が必要
- ・みんなで砂ぼこりを防ぐ方法を検討すべき
- ・地域の生活道路上の表示を検討すべき→行き止まり等の表示
- ・地域住民が地域の道路を管理する手法を検討すべき
- ・道路管理の明確化と管理方法の明確化
- ・市民がやる場合の法的、物的な安全性の確保
- ・ボランティアの整備→NPO等でコーディネートする人が必要
- ・区、シニアクラブの活用
- ・市がやることをあらかじめ決める手法もある
- ・近隣とのコミュニケーション不足
- ・道路の整備を補うものとして公共交通の充実がある
- ・市がやること/市民がやること 情報の共有
- ・側溝清掃年1回で良いのか、基幹的な箇所は複数回にすべき
- ・歩道、車道を歩行者や自転車に安全な環境にすべき→防犯パトロールの活用
- ・市が把握している道路の現状を広報できないか

【公共交通】

- ・長期計画の中で、八街駅の上り下り側の高架について
- ・公共交通の活用
- ・JRの利便性の向上
- ・JR駅を中心としたふれあいバスの整備
- ・車がないと不便
- ・コース毎に時間がかかりすぎる
- ・ふれあいバスの利便性が今ひとつ浸透していない気がする
- ・市民と行政が一体となって積極的に利用する仕組みが作れれば

《今回出された意見》

- ・踏切の解消が第一
- ・複線化や増発が望めないのであれば、千葉駅や佐倉駅での接続の改善を

- ・公共交通の積極的活用
- ・公共交通を利用できる仕組みづくり
- ・一箇所で用事が済む場所があれば良い
- ・ふれあいバスの利便性向上には、JRを中心にしたコース設定が必要
- ・JRとふれあいバスの接続の改善

【ゴミ】

- ・きれいな住みよい街づくりにつながる意識の改革
- ・ポイ捨て防止などを地域で呼びかける
- ・なぜゴミをポイ捨てするのか？
- ・不満があるから心にゆとりがない
- ・不満がなければポイ捨てしない 拾う
- ・分別の仕方
- ・カラス対策
- ・八街市民ゴミ拾い運動の推進
- ・7万人余りの市民が一日一個ゴミ拾いをすればより美しい街になるのでは
- ・ポイ捨てする気持ちが分からない 意識が低い
- ・ゴミ拾いは自分でも出来そう
- ・カン、ペットボトルの収集
- ・ゴミカゴの設置管理
- ・ゴミゼロ運動の充実
- ・公園の草取り
- ・公園のゴミ、ガラスの破片等の処理
- ・意識より実行

《今回出された意見》

- ・ゴミを捨てない意識の改革
- ・ゴミゼロの充実
- ・立て看板の設置(空き地、畑等)
- ・リサイクル(再資源化)の意識が低い
- ・細かな気配り(花差しの設置)が施設へのイタズラ防止になる

【自然】

- ・あまり広くは知られていない(住民のみ知っている)魅力ある場所があるのではないか？
- ・緑の散策道、水がきれいな所、文化的な所など魅力を広くPRし情報発信、展示機会を増やす
- ・八街にはすばらしい自然環境が数多くあると思う
- ・市民の知っている隠れたスポットを再発見し、それを新たな八街の魅力になれば
- ・公園遊具の整備
- ・地盤の強い土地、安全という価値がある
- ・里山づくり(遊歩道など)、コミュニケーションをとれる施設
- ・花の設置をする
- ・水やり→街のパトロール、あいさつ、コミュニケーション
- ・河川をきれいにしましょう
- ・農業振興(らっかぼっち)とマッチした環境整備
- ・歴史、文化を生かした環境整備

《今回出された意見》

- ・根古谷の桜並木の散策道の充実
- ・御成街道の整備
- ・住みたくなる環境→キャッチフレーズ
- ・農業とマッチした環境整備
- ・休耕田の活用(菜の花、コスモス、ヒマワリ)と砂ぼこり対策
- ・地盤の強さを企業誘致に結びつけられないか
- ・ジャガイモ畑の風景は北海道を連想させる
- ・らっかぼっちのワラを補助し景観を保つ
- ・空き地や休耕田を体験農園化し、都市部から人を呼び込む
- ・ホテルの里はないか

【その他】

- ・移住、定住したくなるようなふるさとづくり
- ・情報収集、公開

《今回出された意見》

- ・住みたくなるいいの場を
- ・市の現状について、市民と行政で検討し実行する場を
- ・市民の力を活用したシステム(仕組み)をどう作るか